

『自他共栄』、『練習で泣いて試合で笑え』

- 椎名弘先生から学んだこと -

開倫塾

林 明夫

1. はじめに

(1) 栃木県足利市立山辺中学校の3年間、私は椎名弘先生から部活動で柔道の指導を受けた。1学年が440名の当時の山辺中学校は、運動が盛んで、放課後は校庭と体育館が生徒であふれかえった。最上級生の在籍しない体操部を除き、すべての運動部が足利地区大会を勝ち抜き、夏の県大会に出場。テニス部、野球部、水泳部、女子バスケット部、それに椎名弘先生率いる柔道部が県大会で優勝した。

(2) 生徒であった時は無我夢中で椎名弘先生の指導に少しでも従おうと必死であったが、中学を卒業してしばらくして椎名先生が指導したチームは皆県大会で優勝したり、関東大会にまで出場していることを知って、よい先生に教わってよかったと思い今日に至っている。

2. 椎名弘先生から学んだこと

(1) 先生は、「自分だけ栄えてはならない。他人も自分も共に栄えなければならない。自他共栄ということが大事」、「試合で勝つには、厳しい練習を繰り返し、それに耐えよ。練習で泣いて試合で笑え」と教えて下さった。

(2) 「自他共栄」でチームプレイの精神を、「練習で泣いて試合で笑え」で忍耐力の大切さを椎名弘先生から学んだ。

3. おわりに

椎名弘先生の弟子の一人としてこれからの御活躍を心から御祈り申し上げます。
本当にありがとうございました。

- 2011年3月19日校正 -